

【グローバル競争力の強化】

コロナ禍や国際社会の分断など、世界情勢の不確実性が増す中、本会では、その変化を見極め、国際競争力の強化に努めるため、海外の最新情勢に関する講演会を開催し、研究・議論を行っています。(国際委員会)

さらに、国内外の国際機関の窓口役として、中部圏の魅力のPR、諸外国との情報交換の促進や交流・連携の強化に努めています。



在留外国人から見た魅力ある中部圏をテーマとした意見交換会

【地域産業の活性化、中堅・中小企業の振興】

中部圏の雇用の大半を担い、産業やサプライチェーンを支えている地域の中堅・中小企業は、かねてから販路拡大、人材確保、生産性向上、事業承継などの面で様々な課題を抱えています。本会では、こうした課題の解決に向け、地域産業のデジタル化や地域製品の販路拡大のための支援、リニア中央新幹線の開業や東海環状自動車道西回り区間の開通などを見据えた地域間連携の可能性調査、各地域の付加価値創出につながる具体的な連携策の推進などに取り組んでいきます。(地域産業活性化委員会)

【観光の振興】

観光の振興は、様々な経済効果だけでなく、交流による地域の活性化をもたらします。コロナ禍により観光需要が大きく落ち込む中、観光産業への支援とともに、コロナ収束後の需要回復を見据えた準備も重要です。本会では、観光地のプロモーション以外の分野においても、デジタルを活用した効果的な観光施策など、国・関係自治体との広域連携による新たな取り組みを進め、中部圏の豊富な観光資源や空・陸・海のアクセスネットワークを最大限に生かすことにより、「地域力」向上につながる取り組みを推進していきます。

【地域との関係・連携強化】

本会では、中部圏の「地域力」向上に向け、各地域のポテンシャルを「引き出し」「伸ばす」ための活動を推進していきます。中部圏の現在の実力や潜在能力を定量評価し、伸ばすべき領域や取り組む方策を明確にするとともに、地域との関係や連携を強化することにより、地域の課題やニーズの解決に向けた施策の具体化を進めていきます。

安定的かつ経済的なエネルギー供給の実現と環境保全

国が掲げる2050年カーボンニュートラルの実現には、需給両面の抜本的な構造転換が必要です。本会では、国の政策に関する動向などに対する会員からの意見をまとめ、タイムリーに意見・提言を発信しています。2021年3月には「今後のエネルギー政策に関する提言」を公表しました。

さらに、本会では、自立分散型社会や循環経済システムの確立による、地域の持続的な発展に資する取り組みを進めています。地域のレジリエンス向上にも貢献するマイクログリッドの社会実装に向けた取り組みもその一つであり、2021年3月には「マイクログリッド導入ハンドブック」を公表しました。また、自治体や関係機関とも連携し、循環経済社会の構築に向けた産学官広域連携を推進していきます。(エネルギー・環境委員会)



主な活動紹介

多様で才能豊かな人材育成と、人材が活躍しやすい環境の整備

【環境変化に対応した人材育成・環境整備】

少子高齢化、デジタル化、働き方改革など、企業を取り巻く環境が大きく変化する中で、これらに対応する新たな雇用システムや人材育成の必要性が増しています。本会では、多様な働き方や新しい雇用システムの見直しの方向性の提示、「キャリア教育共創プログラム※」による大学生のキャリア教育の推進、「環境変化に対応した教育・人材育成の実現」に向けた産学連携の強化などに取り組んでいます。(人材育成委員会)

※キャリア教育共創プログラム：会員大学のニーズを踏まえたテーマの講義に関して、本会が事務局となり、会員企業から講師を派遣する取り組み。



キャリア教育共創プログラムの模様

【グローバル人材の活躍】

中部圏のグローバル化を推進し、産業の国際競争力を強化するため、本会では、多様かつ能力に秀でた外国人材の獲得および活躍の推進、外国人留学生の就職支援や在留外国人への日本語教育などに、産学官連携で取り組んでいます。また、これらの取り組みに関する社会環境の整備について調査・研究を行い、グローバル人材の視点から見た中部圏の魅力向上に資する提案を策定・発信していきます。



会員企業にて社員を交えてグループディスカッションする留学生

利便性向上・リダンダンシー確保に必要な社会基盤の整備・維持と、安全・安心を高める国土強靱化

【利便性向上・リダンダンシー確保に必要な社会基盤の整備・維持】

本会では、自動運転や隊列走行などの次世代技術への対応や、老朽化対策を含むインフラ整備に関する課題の調査・研究、および中部圏として整備すべき交通インフラを整理した次期「中部圏交通ネットワークビジョン」の策定に取り組んでいます。(社会基盤委員会)

また、関係機関と連携した道路・港湾、リニア中央新幹線などの整備に向けた要請活動に取り組んでいます。

【中部国際空港(セントレア)の利用拡大と二本目滑走路の早期整備】

中部圏と海外を結ぶゲートウェイであるセントレアは、その機能を十分に発揮することが必要です。本会では、国内線・国際線需要や国際貨物需要の着実な取り込み、国際線増便に向けた航空会社への働きかけ、プロモーション活動の強化など、セントレアの利用拡大に向けた取り組みへの協力・支援を推進するとともに、関係機関と連携し、二本目滑走路の必要性の訴求など、国の検討・取り組みの本格化を実現するための要請活動に取り組んでいます。



中部圏の空の玄関口・中部国際空港セントレア

【経済成長に資する物流の効率化・生産性向上】

ものづくりの集積地である中部圏にとって、物流の効率化、生産性向上は重要です。本会では、人口減少による担い手不足、輻輳する手配業務など、山積する課題の中から「港湾関連データ連携基盤」の利活用推進に焦点を当て、貿易手続きのデジタル化・効率化に向けた調査・研究を進めています。(物流懇談会)

【安全・安心を高める国土強靱化】

南海トラフ地震だけでなく、近年激甚化する風水害をはじめとした大規模災害への備えは喫緊の課題です。本会では、防災・減災対策推進のため、会員の関心が高く、有用性の高いテーマの講演会を開催しています。また、国への要請活動にも関係機関と連携し積極的に取り組んでいます。2020年度は、愛知県とともに、地震・津波対策の整備促進および流域治水の推進を国へ要請しました。

今後は、各企業のBCP策定状況のフォローや充実に向けた支援、風水害に対し社会インフラが抱える課題の調査・研究に加え、2019年5月に公表した提言「南海トラフ地震等が中部経済界に与える影響を最小化するために」を適宜フォローしていきます。(企業防災委員会)

さらに、産学官広域連携の取り組みとして「防災技術に関する研究シーズ・先端技術」と「行政・企業のニーズ」とのマッチングの場づくり、圏内各地域における防災・減災に向けた取り組み事例の共有なども推進していきます。

会員・経済団体との連携強化

本会では、会員との連携強化を図るため、地域会員懇談会や時節を捉えたテーマによる講演会を随時開催しています。さらに、会員サービス充実のため、機関誌「中経連」の発行、メールマガジンの配信、「中部圏経済の回顧と展望」「中部圏に関する基礎的データ集」「経済調査月報」の定期的な公表、景況アンケートの実施・公表などをはじめとした情報発信を実施しています。

また、経団連や東海商工会議所連合会との共催による「東海地域経済懇談会」、愛知県経営者協会、名古屋商工会議所、中部経済同友会との共催による「経済4団体新春賀詞交歓会」、九州、中国、北陸、中部、関西、四国の6つの経済連合会で構成される「西日本経済協議会」の活動などを通じ、他の経済団体・機関との連携を一層強化していきます。



「コロナ禍からの復興と地域の持続的成長に向けて」をテーマに開催した西日本経済協議会総会(2020年10月)

事務局体制

専務理事 常務理事 事務局長	総務部	●総会・理事会・総合政策会議の開催・運営 ●会員サービス ●総務・経理 ●人事 ●広報 など
	企画部	●人材育成委員会 ●広域連携・地域づくり委員会 ●地域産業活性化委員会 ●観光委員会 ●事業計画 など
	調査部	●経済委員会 ●税制委員会 など
	産業振興部	●産業・技術委員会 ●伝統工芸の振興 など
	エネルギー・環境部	●エネルギー・環境委員会 など
	社会基盤部	●社会基盤委員会 ●企業防災委員会 ●物流懇談会 など
	国際部	●国際委員会 ●海外経済視察団 など
	イノベーション推進部	●イノベーション委員会 ●ナゴヤ イノベーターズ ガレージの運営 など
	タスクフォース	●中部国際空港二本目滑走路の早期実現に向けた活動 ●中部圏スタートアップ・エコシステムの形成に向けた活動 など

会員への情報提供

本会会員の皆様をはじめ関係機関に対し、本会の活動状況をわかりやすくお伝えする機関誌の発行や、本会の概要や事業活動などを広く一般に紹介するホームページなど、PRツールの充実に努めています。

機関誌「中経連」

機関誌を発行し、会員の皆様にお届けしています。会員の皆様の様々な想いを「千字万感」として綴っていただくとともに、提言・要望のポイント、主要行事や委員会などの活動状況を報告しています。また、中部5県の最新情報を発信することを目的に、特集記事や主要経済指標などを掲載しています。



中経連メールマガジン

本会の活動状況などを広く紹介するため、メールマガジンを配信しています。

各種提言や要望、会長メッセージ、講演会・セミナーの案内といった中経連の活動に加え、行政をはじめとする関係機関からのお知らせなど、中部圏に関する情報を広く・タイムリーにお届けしています。

中経連ホームページ (<https://www.chukeiren.or.jp/>) からご登録ください。

入会のご案内

1. 本会は、中部圏において活動を展開する約760の企業・学校法人・経済団体などで構成される、広域的な総合経済団体です。入会いただくことによって中部圏の発展に向けた諸活動に参画いただけます。
2. 各委員会・懇談会などに参画いただくことにより、皆様のご意見を、政府などの重要政策に対する提言・要望などに反映させることができます。また、会員同士の交流を図ることもできます。
3. 講演会やシンポジウム、交流会などに参加いただけます。こうした機会を通して、内外情勢や重要政策課題、プロジェクトなどの最新情報をいち早く捉えることができるとともに、幅広く交流を深めていただくことができます。

会費

年会費(1口)

- ・法人会員 ----- 180,000円
- ・団体会員 ----- 30,000円

入会に関するお問い合わせ

TEL: (052) 962-8091

FAX: (052) 962-8090

URL: <https://www.chukeiren.or.jp/>



地下鉄東山線・地下鉄名城線「栄駅」下車5番出口より東へ50m



CENTRAL JAPAN ECONOMIC FEDERATION

〒461-0008

名古屋市東区武平町5-1 名古屋栄ビルディング10階

TEL (052) 962-8091

FAX (052) 962-8090

<https://www.chukeiren.or.jp/>